

株主通信

Vol. **16** | 2011年3月期 第2四半期のご報告
2010年4月1日～2010年9月30日

New Innovative Wave

「これからの医療」のために。

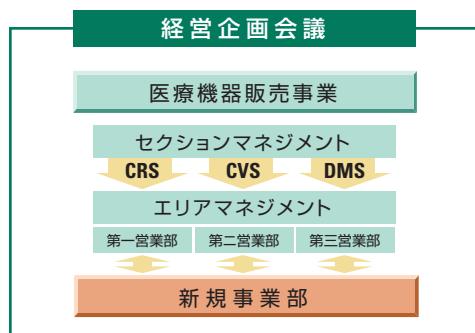


株式会社 ウィン・インターナショナル

JASDAQ 証券コード: 2744

私たちは、 新しい医療周辺 ビジネスの構築を 目指す会社です。

私たちウイン・インターナショナルの存在意義は、医療分野において優れた商品及びサービスを、従来にない方法で安定的に提供することです。そして、医療分野の発展に継続的に寄与し、国民の健康及び医療に貢献していきます。



経営企画会議を情報共有の基点として、当社の主力事業である消耗品関連の医療機器販売事業は、担当エリアの特性に合わせて機動的な営業を行うためのエリアマネジメント(第一営業部から第三営業部)と専門分野における営業活動を柔軟に行うためのセクションマネジメント(心臓律動関連のCRS、心臓外科関連のCVS、糖尿病関連のDMS)で推進しております。新規事業部は新規顧客開拓のツール開発、大型医療機器販売を行っており、各営業部との連携を図って案件獲得を目指しております。

● 財務ハイライト

(百万円)

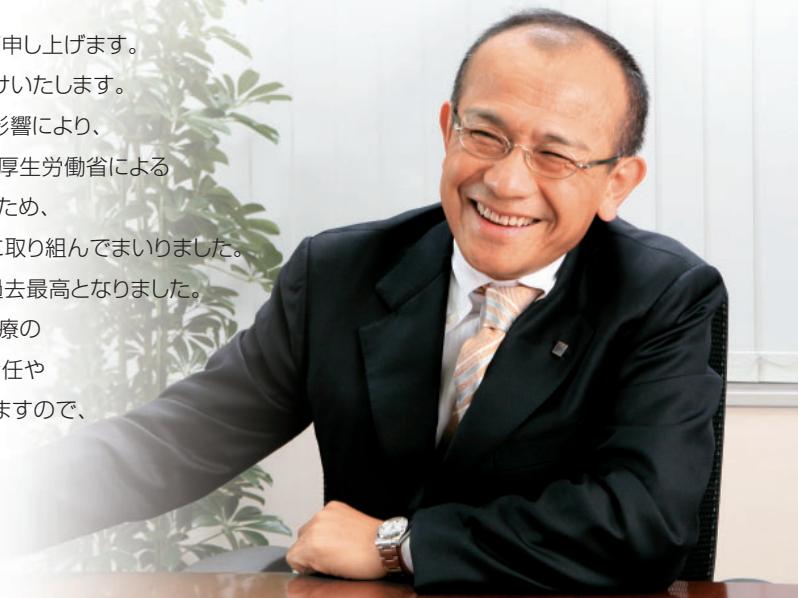
	2009/9 前第2四半期	2010/3 前期	2010/9 当第2四半期
売上高	14,182	29,987	14,295
営業利益	673	1,541	667
経常利益	678	1,548	673
四半期(当期)純利益	388	902	392
総資産	13,905	15,091	14,313
純資産	5,648	6,161	6,216
自己資本比率(%)	40.6	40.8	43.4
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	31.57	73.34	31.93
1株当たり期末配当金(円)	—	26.0	—



上期は、過去最高売上高を記録。 下期も高付加価値の事業活動を展開します。

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
ここに第28期(2011年3月期)第2四半期株主通信をお届けいたします。
第28期は、医療費抑制を目的とする近年の医療制度改革の影響により、
厳しい経営環境が続く中でスタートいたしました。また当期は厚生労働省による
2年に1度の診療報酬及び償還価格改定が行われる年であるため、
その影響を織り込んだ計画値達成に向けて着実に事業活動に取り組んでまいりました。
そうした中で、当上期はおかげさまで上期としての売上高で過去最高となりました。
下期に向けても付加価値の高い事業活動を展開し、低侵襲治療の
拡大・浸透に貢献しながら、人の生命に携わる事業としての責任や
安全・安心・信頼を第一とする当社の存在感を強めてまいりますので、
なお一層のご支援をいただきますようお願い申し上げます。

株式会社ウイン・インターナショナル 代表取締役社長 秋沢 英海



》》 第28期の事業環境と上期の業績について お聞かせください。

第28期は厚生労働省が2年に1度行う診療報酬及び償還価格改定の年に当たっております。当社事業においては、改定年は償還価格引き下げの影響を受けて収益が伸びないのが通常で、当期の事業計画でも売上高で-9%程度の影響を試算しておりました。

しかし第28期上期は、予想を上回り、上期売上高としては過去最高を記録いたしました。

》》 業績好調の要因はどのようなことですか。

上期は償還価格の引き下げにより、販売価格は低下いたしました。新規取引先の獲得や既存取引先の深耕により、心臓カテーテル類等の虚血性心疾患関連を中心に販売数量が増加したこと、心臓律動管理関連の高額製品(ICD・CRT-D)の販売が好調だったこと等がまず挙げられます。一方、診療報酬は引き上げとなったことから医療機関からの厳しい値下げ圧力も落ち着きが見られました。

加えて、顧客医療機関において症例数の増加が見られました。



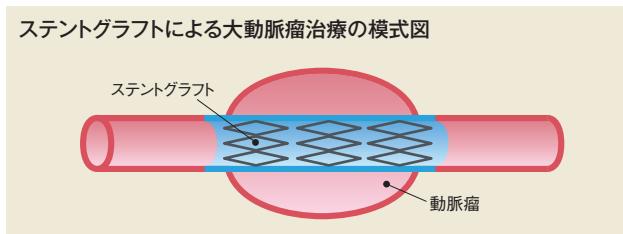
これは、第一に低侵襲治療の浸透や顧客の集中化によるものですが、気候が人体に与える影響は少なくなく、春からの気候変動も何らかの影響を与えたのではないかと考えています。

低侵襲治療の広がりやデバイスの進化の現状をお教えてください。

現在、低侵襲治療の拡大・浸透が進んでいます。デバイスの改良・開発が進むことで、治療できる症例が広がり、そこから更にデバイスの改良・開発が生まれ、症例数が増えるという状況があります。

例えば、狭心症等の心疾患の場合、検査機器が進化したことで、心臓のように動いている部分の撮影や従来では見つけることができなかった患部の発見が可能となり、より早期・軽度の段階で治療が行えるようになりました。低侵襲治療の場合、治療したその日のうちに自宅に帰れるケースもあります。

また、これまで大動脈瘤は外科手術による治療が多く行われてき



ましたが、患部への血流を遮り破裂を防ぐステントグラフト(筒状の金属付人工血管)を用いた低侵襲治療法が開発されました。欧米では既に普及しており、今後、日本でも拡大していくと予想されます。

当社が前期から取扱を開始した糖尿病の低侵襲検査治療機器である連続グルコースモニタシステムやインスリン持続注入ポンプなども、医療機関から高い評価をいただいています。

今後も症例数の増加とデバイスの進化は表裏一体で進み、低侵襲治療はさまざまな診療科に広がっていきます。当社としては、最新技術や機器に対する知識を常にアップデートしつつ、着実で的確な仕事で顧客医療機関とメーカーとを繋ぎ、患者様の負担を軽減することを使命と考えています。

全国展開に向けた拠点整備や営業力強化の進捗状況はいかがですか。

前期は千葉県で松戸出張所を開設し、当期は4月に静岡県で沼津出張所を開設、10月に千葉営業所を拡大移転いたしました。下期以降、これらの営業所等が順調に売上に貢献してくるものと考えています。当社の主要基盤である関東圏では、現在、埼玉・群馬両県の顧客医療機関の状況やニーズを睨み、埼玉県で出張所等の開設準備を進めております。

拠点整備は、顧客医療機関にできるだけ密着した営業活動を行えるようにすることが目的です。基幹営業所からのレスポンスを考慮して、必要なら出張所を設置することで柔軟に対応させていただきます。

人材の確保・育成について、採用方針や教育システム、その成果をお聞かせください。

当社は事業の拡大に応じて計画的に人材採用を進めており、第28期は来期入社の新卒者11名の採用を内定しました。新卒者を、高い専門知識や適正な判断力を備えた優秀な人材に育てるには、時間もコストもかかります。しかし現状組織に刺激を与え、当社の次代を託すためにも人材の採用・育成は必要不可欠であると考えます。



中途者採用では、採用基準のハードルを非常に高くしていますが、それに合う優れた人材を確保できております。今後も中途者採用は活発に行います。

また教育・研修システムについても必要に応じて拡充していきます。

が拡大して売上に貢献することも生じています。こうした医療機関についても、特色やニーズを速やかに把握し、きめ細かく丁寧に対応して事業拡大に努めます。

》 業界再編について、現状ではどのような動きになっていますか。

次回2012年の診療報酬及び償還価格改定では、償還価格の大幅引き下げが予想されます。また業界内では世代交代の時期を迎えて、経営方針・戦略の転換を余儀なくされる会社もあります。こうしたことを背景に、業界再編に向けての動きが徐々に見え始めています。当社ではこの業界再編をチャンスとは捉えておりますが、その都度案件のリスク等を的確に評価・判断して、経営基盤のさらなる強化・拡大に努めてまいります。

》 最後に株主の皆様へのメッセージをお願いします。

前期より、自己株式の取得を当面見送り、配当金へシフトして、配当性向を25%以上から35%以上とする株主還元施策を取っております。

当上期の好業績を受け、下期も着実に売上を積み上げて計画値を達成することで株主の皆様のご期待にこたえてまいりますので、今後も一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

》 下期及び通期の業績見通しと、下期の具体的な取り組みをお聞かせください。

上期の好調を受け、下期も積極的な事業展開で確実に計画を達成してまいります。

前期2月、当社の主力取扱製品であるDES(薬剤溶出ステント)の新製品が2社から発売されたことは、仕入等の条件の改善やDES市場全体の拡大にも繋がっていると考えており、下期も引き続き堅調に推移すると予想します。また、来期には国内メーカー初のDESの発売が予定されており、医療機関の期待も高く、市場に大きな影響を与えることが予想されます。それを踏まえ、当社は医療機関とメーカーを緊密に結びながら、営業力を増強していきます。

また最近では、顧客医療機関の医師の方が別の医療機関に移籍されることによって、これまでお取引のなかった医療機関へも業務

医療機器業界市場規模(ターゲットとする市場)

● 虚血性心疾患関連(PCI)	1,597億円
● 心臓律動管理関連	805億円
● 心臓外科関連	373億円
● 末梢血管疾患関連(PPI)	118億円
● 脳外科関連	190億円



● 虚血性心疾患関連(PCI)	1,746億円
● 心臓律動管理関連	981億円
● 心臓外科関連	475億円
● 末梢血管疾患関連(PPI)	192億円
● 脳外科関連	230億円

出典:株式会社アールアンドディ「医療機器・用品年鑑」

四半期貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

(単位:千円)

期別	当第2四半期末 2010年9月30日現在	前期末 2010年3月31日現在	増減 (△印は減)	期別	当第2四半期末 2010年9月30日現在	前期末 2010年3月31日現在	増減 (△印は減)
資産の部				負債の部			
流動資産	12,671,338	13,380,441	△709,102	流動負債	7,864,521	8,660,492	△795,970
現金及び預金	2,709,926	3,933,410		支払手形及び買掛金	7,291,042	7,949,781	
受取手形及び売掛金	7,604,831	8,277,411		1年内返済予定の長期借入金	79,200	79,200	
有価証券	899,885	—		未払法人税等	291,886	377,564	
商品	1,186,426	916,548		賞与引当金	96,161	100,679	
その他	270,269	253,070		その他	106,232	153,267	
固定資産	1,642,024	1,710,874	△68,850	固定負債	231,843	269,249	△37,405
有形固定資産	1,101,260	1,104,809		長期借入金	74,000	113,600	
無形固定資産	101,757	128,584		退職給付引当金	156,843	154,649	
投資その他の資産	439,006	477,480		その他	1,000	1,000	
資産合計	14,313,362	15,091,316	△777,953	負債合計	8,096,365	8,929,741	△833,376
				純資産の部			
				株主資本	6,183,117	6,110,199	
				資本金	330,625	330,625	
				資本剰余金	196,875	196,875	
				利益剰余金	5,655,723	5,582,749	
				自己株式	△106	△50	
				評価・換算差額等	33,880	51,374	
				純資産合計	6,216,997	6,161,574	55,422
				負債純資産合計	14,313,362	15,091,316	△777,953

総資産



Point

総資産は、前期末と比較して777百万円減少して、14,313百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が672百万円減少したこと等によるものであります。なお、現金及び預金が1,223百万円減少しておりますが、これは、資金運用を行ったことにより減少しており、一方、有価証券が899百万円増加しております。

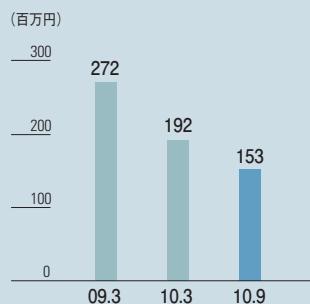
純資産／自己資本比率



Point

純資産は、前期末と比較して55百万円増加して、6,216百万円となりました。これは、四半期純利益により392百万円増加する一方、前期の配当金の支払により319百万円減少したこと等によるものであります。

有利子負債



Point

前期に引き続き、有利子負債削減を進めた結果、当第2四半期末借入金は前期末より39百万円減少しております。

配当金／配当性向



Point

当社は、将来の事業展開と経営基盤の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主各位に対して適正な利益還元を行うため、配当性向を35%以上とすることを基本方針としております。上記方針のもと、当期(2011年3月期)の期末配当(年間)につきましては1株当たり24.0円(配当性向36.3%)を予定しております。

※当社は、2009年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式を分割しております。09.3の「配当金」の数値はさかのぼって算出したものです。



IR活動 個人投資家向け会社説明会を開催!

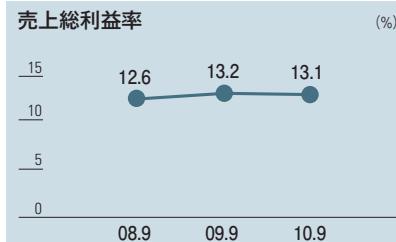
当社では、個人投資家の皆様への当社に対するご理解・ご支援をいただくために、『個人投資家向け会社説明会』を積極的に開催しております。詳しくは <http://www.win-int.co.jp/> をご覧ください。

- 開催スケジュール等はIRカレンダーをご覧ください。
- 直近に開催された2回の『個人投資家向け会社説明会』の資料を掲載し、動画を配信しています。
 - ・7月24日(土) Grantウキョウノースタワー開催分
 - ・9月24日(金) 東京証券会館開催分

四半期損益計算書(要旨)

(単位:千円)

期別	当第2四半期累計 2010年4月1日から 2010年9月30日まで	前第2四半期累計 2009年4月1日から 2009年9月30日まで	増減 (△印は減)
売上高	14,295,332	14,182,054	113,277
売上原価	12,415,510	12,313,496	
売上総利益	1,879,821	1,868,558	
販売費及び一般管理費	1,212,300	1,195,199	
営業利益	667,520	673,358	△5,837
営業外収益	7,870	7,234	
営業外費用	1,628	2,353	
経常利益	673,762	678,239	△4,476
特別利益	5,607	—	
特別損失	739	—	
税引前四半期純利益	678,630	678,239	391
法人税等	285,771	289,879	
四半期純利益	392,859	388,359	4,499



※当社は、2009年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式を分割しております。
08.9の「1株当たり四半期純利益」の数値はさかのぼって算出したものです。

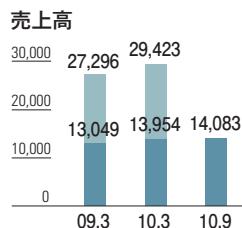
Point

当第2四半期(累計)における当社全体の売上高は14,295百万円(前年同期比0.8%増加)、経常利益は673百万円(前年同期比0.7%減少)、四半期純利益は392百万円(前年同期比1.2%増加)となりました。2010年4月の診療報酬の改定で当社取扱商品の販売価格が下落しましたが、既存顧客の深耕によって取扱数量が増加し、第2四半期(累計)としては、売上高は過去最高の結果となりました。

区分別売上高・売上総利益

(単位:百万円) ■ 期末 ■ 第2四半期累計

● 消耗品関連



● その他



四半期キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)

期別	当第2四半期累計 2010年4月1日から 2010年9月30日まで	前第2四半期累計 2009年4月1日から 2009年9月30日まで	増減 (△印は減)
営業活動によるキャッシュ・フロー	30,211	762,512	△732,301
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,731	△56,432	62,164
財務活動によるキャッシュ・フロー	△359,541	△241,400	△118,141
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△323,598	464,680	△788,278
現金及び現金同等物の期首残高	3,933,410	2,623,661	1,309,749
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,609,811	3,088,341	521,470

Point

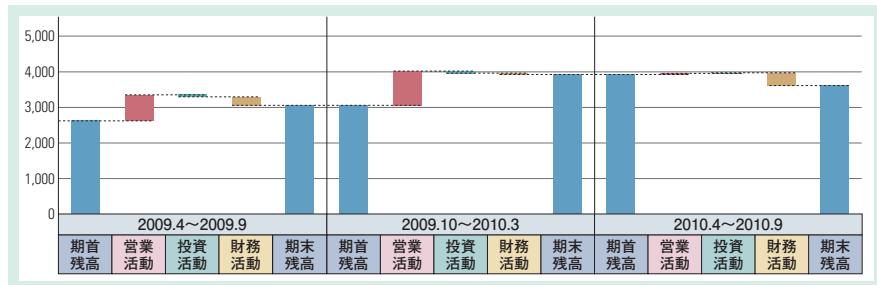
営業活動によるキャッシュ・フローは、純粋な営業活動において得られた収入が404百万円(前年同期は1,117百万円の収入)ある一方、法人税等を377百万円支払ったこと(前年同期は357百万円の支払)等により、30百万円の収入(前年同期は762百万円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却により35百万円の収入(前年同期はありません)があったことや有形固定資産取得のため18百万円の支出(前年同期は12百万円の支出)があったこと等により、5百万円の収入(前年同期は56百万円の支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前期の配当金を319百万円支払ったこと(前年同期は201百万円の支払)や長期借入金を39百万円返済したこと(前年同期は39百万円の返済)等により、359百万円の支出(前年同期は241百万円の支出)となりました。

グラフで見るキャッシュ・フローの推移

(単位:百万円)

IRサイトの
ご案内

当社のさらに詳しい情報についてはHPをご覧ください。

<http://www.win-int.co.jp/>

■ お問い合わせ先 総務部 / 03-5688-0878

ウイン・インターナショナルのホームページはIR・財務情報に加え、皆様に当社の事業内容をより深くご理解いただけるよう最新ニュースや事業案内を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



会社概要 (2010年9月30日現在)

社名	株式会社ウイン・インターナショナル
英文社名	WIN INTERNATIONAL CO., LTD.
事業内容	医療機器販売事業
本社	東京都台東区台東四丁目24番8号
主な拠点	東京、千葉、埼玉、神奈川、福島、大阪、香川、福岡
設立年月日	1983年6月1日
資本金	330,625千円
従業員数	245名

株式の状況 (2010年9月30日現在)

発行可能株式総数 47,000,000株

発行済株式の総数 12,303,400株

大株主(上位11名)

株主名	持株数	持株比率
	(株)	(%)
秋沢 英海	4,105,300	33.4
グリーンホスピタルサプライ株式会社	800,000	6.5
ピーピーエイチフォーフィデリティロープライズストック ファンド 常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行	671,571	5.5
株式会社三菱東京UFJ銀行	400,000	3.3
古川 國久	400,000	3.3
メロンバンクエヌエートリーテイークライアント オムニバス 常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行	385,429	3.1
日本生命保険相互会社	250,000	2.0
三田上 浩美	202,400	1.6
第一生命保険株式会社	200,000	1.6
鶴田 金光	200,000	1.6
伊藤 成幸	200,000	1.6

(注) 持株比率は自己株式(200株)を控除して計算しております。

株主数 2,773名

上場金融商品取引所 大阪証券取引所(JASDAQ市場)(証券コード: 2744)

IRのお問い合わせ先 総務部/TEL 03-5688-0878

URL <http://www.win-int.co.jp/>**取締役、監査役、会計監査人** (2010年9月30日現在)

代表取締役	秋沢 英海
取締役	三田上 浩美
取締役	村田 裕可
取締役	杉原 庸介
監査役	卜部 容志孝
監査役	神田 安積
監査役	菊地 康夫
補欠監査役	大友 良浩
会計監査人	有限責任あずさ監査法人

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 期末配当金 3月31日

公告方法 電子公告 URL <http://www.win-int.co.jp/koukoku/index.html>

ただし、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人(特別口座の口座管理機関) 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

株式に関するお申出先 〒137-8081

東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話0120-232-711(フリーダイヤル)
(同取次窓口)

三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

*株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

*未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主通信 Vol.15の アンケート結果

アンケート調査に多くの回答と
温かいメッセージをいただき、
ありがとうございました。
アンケートの結果を下記に
掲載させていただきますので
ご参照ください。

あなたが当社の株式を購入された理由は何ですか。

(複数回答可/%)



あなたは当社の株式に対してどのような方針をお持ちですか。

(%)



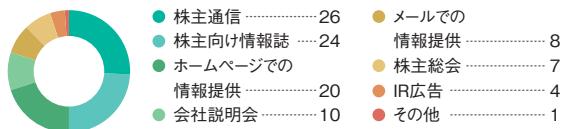
あなたが当社の株式に対する方針を決定する際、特に重視するものをお知らせください。

(複数回答可/%)



あなたが当社のIR活動について、特に充実を希望することは何ですか。

(複数回答可/%)



今後も株主の皆様からのご意見には真摯に耳を傾け、
当社ビジネスを一層発展させるための糧とさせていただきます。

株主の皆様へのアンケートのお願い

当社では、株主・投資家の皆様とのコミュニケーションを図るため、
アンケートを実施させていただいております。

なお、従来のハガキによるご回答に加えてインターネットからも
ご回答いただけます。

お手数ではございますが、ご協力の程、よろしく願いいたします。

インターネットをご利用いただけない株主様は、
こちらのハガキをご利用ください。

該当する項目の番号に○を付けてください。
特に指定のないもの以外は「1つだけ」お選びください。

問1 あなたが投資先を検討する際、よく利用する情報源をお知らせください。(3つまで)

- ①新聞 ②会社四季報・日経会社情報 ③経済誌・投資情報誌 ④アナリストレポート
⑤証券会社の営業員 ⑥一般株式情報サイトやメールマガジン ⑦企業のホームページ
⑧会社説明会 ⑨その他

問2 あなたは当社の株式を購入する際、社名をどこでお知りになりましたか。

- ①TV・新聞・雑誌など ②インターネット ③会社四季報・日経会社情報 ④アナリストレポート
⑤証券会社の紹介 ⑥知人の紹介 ⑦以前から知っていた ⑧その他

問3 あなたが当社の株式を購入された理由は何ですか。(いくつでも)

- ①将来性 ②収益性 ③安定性 ④独自性 ⑤知名度 ⑥経営者の考え方 ⑦経営方針
⑧事業内容 ⑨財務内容・業績 ⑩社会・環境問題への取組み度 ⑪配当利回り
⑫証券会社の勧め ⑬その他

問4 あなたは当社の株式に対してどのような方針をお持ちですか。

- ①買い増し ②長期保有 ③売却 ④未定

問5 あなたが当社の株式に対する方針を決定する際、特に重視するものをお知らせください。
(3つまで)

- ①将来性 ②収益性 ③安定性 ④独自性 ⑤知名度 ⑥経営者の考え方 ⑦経営方針
⑧事業内容 ⑨財務内容・業績 ⑩社会・環境問題への取組み度 ⑪配当利回り
⑫株主優待 ⑬その他

問6 あなたは当社のIR活動に満足していますか。

- ①満足している ②普通 ③不満である

問7 あなたが当社のIR活動について、特に充実を希望することは何ですか。(いくつでも)

- ①ホームページでの情報提供 ②メールでの情報提供 ③会社説明会 ④株主総会
⑤株主通信 ⑥株主向け情報誌 ⑦IR広告 ⑧その他

問8 当社の株主通信について、情報量はいかがですか。

- ①多すぎる ②ちょうど良い ③少なすぎる

問9 当社の株主通信について、わかりやすさはいかがですか。

- ①わかりやすい ②普通 ③わかりにくい

問10 当社の株主通信について、読みやすさはいかがですか。

- ①読みやすい ②普通 ③読みにくい

その他ご意見・ご要望等ございましたらご記入ください。

アンケートはインターネットから ご回答いただけます。

インターネットをご利用いただけない株主様は、
こちらのハガキをご利用ください。

郵便はがき

1 1 0 8 7 9 0

220

料金受取人払郵便

上野支店承認

5143

差出有効期間
平成23年3月
31日まで
切手はいりません

東京都台東区台東四丁目24番8号

株式会社ウイン・インターナショナル
総務部 行



性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性
年齢	<input type="checkbox"/> 29歳以下 <input type="checkbox"/> 30~39歳 <input type="checkbox"/> 40~49歳 <input type="checkbox"/> 50~59歳 <input type="checkbox"/> 60~69歳 <input type="checkbox"/> 70歳以上
お住まいの都道府県	
ご職業	<input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 会社役員 <input type="checkbox"/> 公務員・非営利団体職員 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> パート・アルバイト・フリーター <input type="checkbox"/> 専業主婦 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 無職・定年退職 <input type="checkbox"/> その他
株式投資歴	<input type="checkbox"/> 1年未満 <input type="checkbox"/> 1~2年未満 <input type="checkbox"/> 2~5年未満 <input type="checkbox"/> 5~10年未満 <input type="checkbox"/> 10年以上

キ
リ
ト
リ
線

株主様向け
アンケート

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、
アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、
アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、
アクセスコード入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 2744

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト
内にある検索窓に、いいかぶと
4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使い
の方は、右のQRコードからもアクセスできます。



- アンケート実施期間は、本誌が
お手元に到着してから約2ヶ月
間です。

インターネットでご回答いただいた方
の中から抽選で薄謝(図書カード500円)
を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」
サービスにより実施いたします。(株式会社エーツーメディアについての詳細
<http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用さ
せていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com



株式会社 ウイン・インターナショナル

〒110-8558 東京都台東区台東四丁目24番8号

TEL:03-5688-0878

<http://www.win-int.co.jp/>



本誌は、環境に優しい植物油
インキを使用して印刷しています。